

水道・ガスモデル図

道路の中心から片側 3 m の範囲内に水道・ガス本管、反対側 3 m の範囲内に下水本管を計画する。
※左右逆でも可
※水道ガスの並びも不問

施設管理者（お客様設備課）と十分協議し作成すること。

既設水道・ガス本管との接続部の表示と、接続部を含めた舗装本復旧範囲（関連区域）の表示

既設水道 (W) ・ガス (G) 本管口径 (mm) の表示

新設水道 (W) ・ガス (G) 本管口径 (mm) の表示

消火栓を表示
※必要な場合のみ、記号の指定は無い

標準的な水道・ガス引き込み方法
※水道・ガスの順番は不問

凡例を設けて施設（既設・新設本管、引込管等）別に表示すること。また、管種及び管径も表示すること。

水道本管分岐部に仕切弁を配置

水道本管の末端に泥吐弁を設置
泥吐部の側溝蓋はグレーチングとする

引込管等は、各宅地まで表示すること。

ループ形状となる場合の仕切弁及び泥吐弁の配置

水道・ガスの凡例を追加

-----	既設水道本管
-----	新設水道本管
-----	水道引込管φ20
⌵	仕切弁・泥吐弁
⌵	グレーチング
⊕、⊙ 等	消火栓
-----	既設ガス本管
-----	新設ガス本管
-----	ガス引込管φ30
⌵	舗装本復旧（開発関連区域）

※線種、記号、色等に指定は無い

凡	例
-----	開発区域線
-----	開発区域境界線
-----	境界線
-----	造成協力地
-----	法面 (1:1.5)
-----	給水管
⊕	消火栓
⌵	仕切弁・泥吐弁
⌵	止水栓
⌵	給水設備φ20
⌵	既設ガス本管
⌵	ガス本管
⌵	ガス引込管φ30
⌵	既設ガス引込管

その他詳細はモデル図を参照すること。

事業名	〇〇〇〇事業
事業場所	大津市〇〇〇一丁目
事業者	〇〇株式会社
設計者	〇〇株式会社 大津 太郎
図面年月日	令和〇年〇月〇日 第1/300
図面名	給水・ガス供給 計画平面図
図番	6